



第二五回 全国女性消防団員活性化青森大会

Ⅱ 来年は徳島県で開催 Ⅱ

題 字
 初代会長 松野 盛吉
 定 価 1部 48円
 (購読料は年会費に含む)
 発行人
 〒010-0951
 秋田市山王四丁目1番2号
 秋田地方総合庁舎内
 秋田県消防協会
 会長 高橋 正尚
 電話 018-867-7320
 FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
 E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
 〒010-0951
 秋田市山王7丁目5-29
 株式会社 松原印刷社
 電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

「女性消防団員新時代へわたるの出会い」の大会テーマのもと、第二五回全国女性消防団員活性化青森大会が、九月一九日(木)、青森市「マエダアリーナ(新青森県総合運動公園青い森アリーナ)」を会場に、全国から約二、六〇〇名が参加して開催されました。

本県からは、一一〇名(女性団員五一名)が参加しました。

大会は、開会式に続き、四消防団による活動事例発表と、三消防団による防火防災啓発劇の発表がありました。

その後、「自ら変わろうとする強い思いが、人生を変える!勝ち続ける組織を作る!」と題して、青森山田高校サッカー部監督の黒田剛氏による記念講演がありました。

閉会式では、大会宣言後、次期開催地の徳島県に、大会旗が引き継がれました。

令和元年度全国統一防火標語

ひとつずつ いいね!で確認 火の用心

参加団員の感想

鹿角市 阿部美紀子

初めて参加しましたが、全国から集まった皆さんに活気があり、事例発表や啓発劇を見て、色々な発見や刺激を受けました。

実際に被災を体験された方、被災地で活動された話は、経験していない私たちの活動に大変役立つものでした。

避難所での女性消防団の活動は、限られたものになるかもしれませんが、いくらでも即戦力になれるように、研修のあり方を考えなければならぬと感じました。

大館市 近藤由起子

活性化大会に初めて参加して、この大会が毎年開催されていること、女性消防団員が全国で活躍し、期待されていることに感銘を受けました。自然災害がいつ起きるか分からない近年、命を守る行動をとる。そして助け合う。

女性消防団員として、地域を守っていかねばと強く感じました。

北秋田市 長崎しのぶ

消防団に入団して、初めての全国

大会参加でした。

他県の活動発表を聞いて、これからも女性消防団にしかできないこともあるので、団員と協力して地域住民の安心と安全を守るため、活動していきます。

八峰町 奈良 聡子

初めて全国大会に参加したが、女性消防団員の防災意識の高さと啓発活動への多彩な取組に大いに刺激を受けた。

特に恵那市消防団の「子連れ防災教室」とローリングストックの考え方や、阿見町消防団の非常時持ち出し品やゴミ袋で作る合羽等、非常に具体的に参考になった。

福山市消防団の寸劇は、演技力と様々な工夫が素晴らしかった。

潟上市 根 麻衣

各消防団の工夫あふれる取組を学ぶことができました。中でも、身の回りの日用品を利用した応急手当は、生活により身近な女性ならではの工夫が感じられました。

市民の防災意識が高まっている今、私たち女性に求められる役割も大きくなっています。

今回の事例を参考に活動の充実に

努めたいという思いを強くしました。

秋田市 渡辺 有美

他県の女性消防団員の活動やその成果の発表を聴き、どれも素晴らしい内容で、大変刺激を受けました。寸劇も面白くわかりやすい内容で、よく考えたと感心しました。

子供や高齢者にとっては、話を聞くだけではなく、目で見ることにより理解しやすいと思うので、今後の活動に取り入れてみたいです。

由利本荘市 佐藤めぐみ

今回初めて参加しました。現在、当市消防団女性部は、幼稚園児を対象とした活動が中心で、大人にどのように入プローチすべきか考えているところでしたので、本大会の活動事例は大変参考になりました。

被災地での現場活動の体験談も心に留めておき、今後の活動に活かしていければと思います。

にかほ市 新田まゆみ

特に私が目を引かれたのが、展示ブースです。

市民メディアカルラリーの内容が展示されています。

チームに分かれてトリアージ、ファーストエイド、避難所アセスメント、心肺蘇生、心のケアを協力して行う内容で、今後の活動に取り入れていけたらと思います。

大仙市 小笠原寿美子
一番心に残ったのは、豊橋市消防

団の身近なモノを活用した応急手当方法と百円均一の商品で防災グッズを揃えていたことでした。

私達も秋祭りの時にでも、市民の皆様にお伝えして、日々の生活に役立て喜んでもらいたいと感じました。

仙北市 熊谷 千秋

入団して三年目で、初めて参加しました。入団前も、してからも、正直女性に何が出来るのだろうか?と思っていました。

会場に行くと、年齢層の高いことに驚きました。

各地の活動事例やシンポジウムを聞き、女性団員は、災害発生前の誘導や啓発活動、発生後は手当やアドバイス等で地域の方々のために役立つことが出来ることを知りました。

今後は、知識を身に付け、何をするかを少しずつ考えようと思います。



鹿角市・小坂町



潟 上 市



八 峰 町



大 館 市



仙 北 市



大 仙 市



にかほ市

令和元年秋の叙勲
第三回危険業務従事者叙勲

令和元年秋の叙勲及び第三回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日に発令されました。

本県の消防関係では、秋の叙勲で二四名、危険業務従事者叙勲で八名が受章されました。十一月六日に秋田県正庁において、知事伝達式が行われました。

また、消防庁伝達式は、秋の叙勲が二月一二日ニッショーホール、危険業務従事者叙勲が二月一〇日、



総務省で行われ、伝達後それぞれ、皇居において拝謁が行われます。受章者の皆様、誠におめでとうございます。(記載は五十音順)

令和元年秋の叙勲

◆瑞宝双光章(二名)

元小坂町消防団 長 成田俊昭

◆瑞宝单光章(二三名)

元藤里町消防団 分団長 荒川忠良

元大仙市消防団 副団長 小田嶋俊一

元男鹿市消防団 分団長 小山田清悦

元琴丘町消防団 分団長 加藤長孝

元大仙市消防団 副団長 児玉誠良

元横手市平鹿消防団 團長 齋藤喜代美

元大内町消防団 分団長 斉藤幸雄

元大森町消防団 副分団長 佐々木幸之助

元東成瀬村消防団 分団長 佐々木東太郎

元大館市大館消防団 分団長 佐々木寛

元皆瀬村消防団 分団長 佐藤常太郎

元大仙市消防団 副団長 佐藤文一

元横手市消防団 分団長 佐藤稔

元湯沢市消防団 副団長 佐藤隆吉

元岩城町消防団 副分団長 高橋正利

元羽後町消防団 團長 瀧澤将史

元北秋田市消防団 分団長 津谷静正

元秋田市消防団 副団長 鳥海一房

元八郎潟町消防団 副団長 畠山敏夫

元仙北市消防団 副団長 林崎久

元潟上市消防団 分団長 藤原孝志

元鳥海町消防団 分団長 村上武

元男鹿市消防団 分団長 渡部喜代文

第三回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(六名)

元能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 菊地重男

元由利本荘市消防本部 消防司令長 工藤康治

元横手市消防本部 消防司令長 佐藤憲悦

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 藤原運悦

元秋田市消防本部 消防監 保坂昭弘

元秋田市消防本部 消防監 保坂喜久雄

◆瑞宝单光章(二名)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 嶋津昌彦

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 山崎久男



知事伝達式

各地域における総合防災訓練の実施状況

能代市山本郡

| | |
|--------|--|
| 開催日 | 令和元年5月24日(金) |
| 開催地 | 能代市小繋地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・小繋地区に土砂災害警戒情報が発表され、避難勧告を発令し、防災行政無線で避難広報を実施する。 ・青森県から新潟県にかけての日本海を震源とするマグニチュード8.7の巨大地震が発生。能代地域の震度は6強、地震により家屋倒壊、交通事故、火災発生。 ・地震2分後に大津波警報発表、津波発生。 ・小繋地区では土砂災害が発生し、米代川の水防警報が発表された。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民避難訓練、避難誘導訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・土砂災害救助訓練 ・水防訓練 ・水難救助訓練 |
| 参加人員 | 約500人(9機関・団体) |



大館北秋田

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 令和元年8月25日(日) |
| 開催地 | 大館市釈迦内地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・数日来的大雨による中規模河川の洪水及び土砂災害の発生が予想される状況下、釈迦内地区釈迦地付近を震源とする震度6の直下型地震が発生。 ・市は河川の増水による洪水や土砂災害の危険箇所を確認し、家屋等の倒壊や火災など多額の災害が発生している状況で、防災関係機関が町内会や自主防災組織と協働して避難、安否確認及び負傷者の救出、救護活動などを開始。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集訓練 ・多数傷病者対応訓練、市民避難訓練 ・土砂洪水対処訓練、火災防ぎょ訓練 ・避難所応急救護所開設運営訓練 |
| 参加人員 | 約400人(35機関・団体) |



秋 田 市

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 令和元年8月30日(金) |
| 開催地 | 秋田市新屋地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・午前9時20分、秋田沖を震源とする地震発生。秋田市は震度5強。 ・各地でライフライン寸断、住家で家財転倒、ガス漏洩、建物損壊。 ・午前9時40分、秋田沖を震源とする地震発生。秋田市で震度6強。 ・午前9時45分、秋田県沿岸に大津波警報発表。 ・西部工業団地で、従業員や保育施設利用者が避難開始。 ・雄物川右岸河川敷で、地震発生に伴い乗用車がハンドル操作を誤り、事故が発生。負傷者多数の模様。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・シェイクアウト訓練、災害対策本部設置運営訓練 ・ドローン活用情報収集訓練、人命検索救助救出訓練 ・消防団による街区火災防ぎょ訓練 ・緊急救援物資搬送訓練、災害時要配慮者対応訓練 ・情報伝達訓練、津波避難訓練 |
| 参加人員 | 約2,100人(29機関・団体) |



男鹿潟上南秋

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 令和元年9月1日(日) |
| 開催地 | 男鹿市・大潟村 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月1日(日)午前8時45分頃、男鹿市に「土砂災害警戒情報」発表。 ・午前9時15分秋田県沖震源マグニチュード8.7、震度6強の地震が発生。秋田県沿岸に「大津波警報」 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集訓練、シェイクアウト訓練、避難訓練 ・災害対策本部設置運営訓練 ・自主防災組織防災対応訓練 ・救援部隊集結活動訓練 ・火災防ぎょ訓練 |
| 参加人員 | 約2,000人(176機関・団体) |



令和元年度秋田県総合防災訓練は9月1日(日)、秋田県、男鹿市、大潟村、県警、消防、自衛隊など176機関から約2,000人が参加して行われました。(秋田県総合防災課)

★紙面の都合により、鹿角支部の実施状況は6頁に記載しています。

大仙仙北美郷

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 令和元年8月23日 (金) |
| 開催地 | 大仙市西仙北地域 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月23日午前8時30分頃、急速に発達した低気圧の影響による大雨と強風が続く中、秋田県北部を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生。西仙北地域では震度6弱を観測。 ・雄物川及び支流が大雨による増水で氾濫。浸水危険のある地区住民が中学校に避難。 ・土砂災害による車両埋没・家屋の倒壊。浸水した家屋に人が取り残された等の災害が発生。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部設置訓練、避難所開設訓練、土のう作成訓練、炊き出し訓練 ・土砂災害救出訓練、倒壊家屋救出訓練、災害廃棄物処理訓練、孤立者救助訓練、灯油流出対応訓練 |
| 参加人員 | 約600人 (26機関・団体) |



由利本荘にかほ

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 令和元年10月5日 (土) |
| 開催地 | 由利本荘市由利地域 前郷地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・北由利断層を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生。 ・由利地域では最大震度6弱を観測。 ・地震による家屋倒壊及び建物火災が発生している模様。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報訓練、避難訓練、炊き出し給水訓練、初期消火体験、煙体験 ・倒壊建物からの救出訓練、シェイクアウト訓練、避難所運営訓練 ・建物火災防ぎょ訓練、協定団体による給水訓練。 |
| 参加人員 | 約600人 (13機関・団体) |



湯沢市雄勝郡

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 令和元年10月25日 (金) |
| 開催地 | 市内全域 (主会場：皆瀬地域) |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・10月25日午前9時00分、横手盆地東縁断層帯南部を震源とする震度6強の地震が発生。震源の深さは13km、マグニチュード7.8と推定。被害状況は不明、今後も震度5～6程度の余震が断続的に発生する可能性が高いと予想される。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織活動訓練 (避難・安否確認訓練、初期消火訓練等) ・倒壊家屋被災者救出・搬送訓練 ・要配慮者施設避難、要配慮者受入訓練 ・建物、林野火災防ぎょ訓練 ・つり橋転落者救出、搬送訓練 |
| 参加人員 | 約1,000人 (22機関・団体) |



横 手 市

| | |
|--------|--|
| 開催日 | 令和元年8月25日 (日) |
| 開催地 | 横手市増田地域 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・大雨、集中豪雨 (水災害等) ・前日から降り続いた大雨により、市災害対策本部及び現地災害対策本部を設置し、河川の増水及び各地で災害が発生したとの想定で、警戒レベルに基づく避難誘導及び住民の避難のほか、各種訓練を実施。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部設置運営訓練 ・情報収集・伝達・通信訓練 ・避難誘導訓練 (避難行動要支援者含む) ・給食給水訓練、避難所運営訓練 ・水害等対応訓練 |
| 参加人員 | 約240人 (38機関・団体) |



第九期 女性消防団員教育

秋田県消防学校

第九期女性消防団員教育は、一月一九日(土)、二〇日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)において県内六消防団から八名が参加して行われました。

入校式で、秋田県消防協会児玉誠喜副会長は「この研修で、消防活動の基礎的な知識や技術を学ぶとともに、ベテランの参加者の経験談を聞いて、皆さんの地域で活躍の場を広げるヒントをつかんでください。」と激励しました。

■研修内容

講話(県消防協会副会長)

消防活動訓練(訓練礼式、消火訓練、放水要領、ホース延長、結

練、所要領、煙体験、地震体験)

救急訓練(応急手当講習)

各団の活動紹介、意見交換

■受講生名簿

| | | | |
|-------|----|-----|-----|
| 大館市 | 団員 | 佐々木 | 由紀子 |
| 男鹿市 | 団員 | 佐藤 | 樹 |
| 男鹿市 | 団員 | 小玉 | 綾美 |
| 五城目町 | 団員 | 伊藤 | 登紀子 |
| 五城目町 | 団員 | 伊藤 | 登紀子 |
| 井川町 | 団員 | 鈴木 | 美樹 |
| 由利本荘市 | 団員 | 豊島 | 美樹 |
| 仙北市 | 班長 | 西宮 | 三春 |



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

- (営業種目)
- トーハツ小型動力ポンプ
 - モリタ自動車ポンプ
 - ジェットホース
 - 消防被服全般
 - 火災報知器各種
 - 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕カギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

鹿 角

| | |
|--------|--|
| 開催日 | 令和元年11月3日(日) |
| 開催地 | 小坂町 |
| 訓練想定 | ・防災関係機関と町民が災害発生時の対応について実践的に訓練し、地域防災力の向上と防災意識の普及啓発を図ることを目的とする。 |
| 主な訓練内容 | ・避難誘導訓練 ・情報伝達訓練 ・煙体験 ・消火訓練(天ぶら油火災実験、消火訓練・消火器取扱訓練) ・土のう作製訓練 |
| 参加人員 | 約50人(14機関・団体) |



秋田県緊急消防援助隊が出勤

Ⅱ 秋田県総合防災課 Ⅱ

台風一九号による宮城県などでの被害発生を受け、消防庁長官の指示を受けた一都九県五市の緊急消防援助隊が被災地に出勤しました。

秋田県緊急消防援助隊は、浸水被害等が甚大な宮城県丸森町へ一〇月一三日に出動しました。第一次隊、第二次隊に分かれて、県内一三消防本部から計二二八人が現地入りし、行方不明者の捜索や道路が冠水し身動きがとれない住民を救助・誘導し、避難所や病院への搬送などを行い、一〇月一八日に帰隊しました。

■緊急消防援助隊について

【概要】

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災（平成七年）の教訓を踏まえ創設された。

大規模災害等において、被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施できるよう、全国の消防機関相互による援助体制が構築された。

その後、大規模・特殊災害発生時の消防庁長官の指示権が創設された。

【仕組み】

◇総務大臣が、隊編成や施設整備等に係る基本的な事項に関する基本計画を策定

◇基本計画を踏まえ、消防庁長官が都道府県知事又は市町村長からの申請に基づき部隊を登録

・全国 六四二一隊（本年四月現在）
・秋田県 八九隊（同 右）

◇大規模災害時に、消防庁長官の出勤の求め又は指示により部隊出勤
◇多くの部隊が効果的な活動を行うため、都道府県に消防応援活動調整本部を設置（市町村には指揮支援本部を設置）

秋田県緊急消防援助隊の出動までの時間経過

【10月13日】

- 2時10分 宮城県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の応援要請
- 2時40分 消防庁から秋田県に対し、出動可能隊数の報告と出動準備を依頼
- 4時15分 消防庁長官から秋田県に対し、援助隊の宮城県への出動指示
- 5時00分 秋田県大隊が宮城県に向け出動
- 12時20分 現地到着・活動開始



写真=秋田県提供

◆ 秋田県の地域別設置率 ◆

☆地域名は、消防本部等の略称で表記

| 地域名 | 設置率 | 地域名 | 設置率 |
|--------|-----|--------|-----|
| 秋田市 | 85% | 由利本荘市 | 80% |
| 能代山本広域 | 93% | 湖東地区 | 91% |
| 横手市 | 73% | 大曲仙北広域 | 74% |
| 大館市 | 89% | 北秋田市 | 86% |
| 男鹿地区 | 65% | にかほ市 | 82% |
| 湯沢雄勝広域 | 77% | 五城目町 | 83% |
| 鹿角広域 | 84% | | |

(標本調査のため、各数値は一定の誤差を含んでいます。)

住宅用火災警報器の設置

状況について：総務省消防庁

総務省消防庁が、令和元年六月時点での設置率を公表したため、その概要をお知らせします。

秋田県の設置率は、八一・八%で、前回（平成三〇年六月）八一・五%）に比べ、〇・三ポイント上昇し、都道府県の順位では二一位となっています。（前回：二〇位）

また、全国平均は八二・三%で、最高が福井県の九四・五%、最低は沖縄県の五八・二%。全国平均を上回っているのは一八都府県、二九道県が下回っています。

支部情報アラカルト

横手市支部各種研修会

を実施しています

横手市支部では、秋の火災予防運動に向けた各種研修会を実施しています。

一〇月一六日(水)は、横手市内の火災予防組合員や婦人防火団体等指導者を対象とした「横手市火災予防組合研修会」を開催しました。

(二財)東北電気保安協会の職員を講師として招き、電気安全セミナーとして電気設備火災の現状と対策のほか、普段の家庭生活で起こり得る、TV裏や冷蔵庫裏のほこりなどで起きるトラッキング現象を演習し、電気火災の防止策や分電盤の確認方法



など、家庭で電気を正しく安全に使うためのポイントを学びました。

研修には支部役員も出席し、常日頃から、もしもの時のための対策を講じてこそ、本当の意味での火災予防につながることを認識しました。

火災予防運動期間中は、横手市各地域における駆け付け放水訓練と防火パレードの実施、十一月九日(土)には、入団三年以内の団員を対象とした教養研修、災害時にポンプ車等の機関員として活動する団員を対象とした機関員教養研修を開催します。

消防団員の資質向上、各種災害における的確な対応と消防団の活性化推進につながることを期待し、今後も研修を重ねてまいります。



(情報提供)横手市支部

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

| | 令和元年 | | 平成30年 | | | 同期比較 | |
|------|------|-----|-------|-----|-----|------|-----|
| | 10月 | 累計 | 10月 | 累計 | 年計 | 10月 | 累計 |
| 建 物 | 18 | 165 | 15 | 131 | 166 | 3 | 34 |
| 林 野 | 0 | 30 | 0 | 14 | 14 | 0 | 16 |
| 車 輛 | 4 | 22 | 2 | 33 | 39 | 2 | -11 |
| その他 | 4 | 92 | 7 | 66 | 72 | - 3 | 26 |
| 合 計 | 26 | 309 | 24 | 244 | 291 | 2 | 65 |
| 死者数 | 1 | 14 | 2 | 14 | 18 | - 1 | 0 |
| 負傷者数 | 3 | 57 | 1 | 35 | 46 | 2 | 22 |

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防 設 備
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター 協立 株式会社

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361